

## V 研究報告

### 研究科の活動

広島文化学園大学大学院看護学研究科

研究科長 岡本陽子 補佐 讃井真理

#### 1. 研究科の活動

大学院看護学研究科は博士前期課程及び博士後期課程の2課程を有し、学生の1学年定員はそれぞれ8名、3名である。平成29年度の学生数は博士前期課程1年生6名（秋入学含め）、2年生2名で、博士後期課程は1年生3名、2年生3名（うち1名は休学）、3年生4名（うち1名は前期休学、1名は通年休学）、長期履修及び在籍学生4名であり、各学生に対して教育・研究指導を展開した。その結果、平成30年3月には博士前期課程学生の2名が修士号（看護学）、博士後期課程学生1名が博士号（看護学）の学位を取得した。なお前期課程2名のうち1名が専修免許を取得した（他1名については既に取得済み）。本年度より看護学研究科の3つのポリシーを踏まえて研究教育を行った。

学位の取得以外に平成29年度の主な取り組みは以下の通りである。

##### ① 教員組織の再編成

全学的な「大学院研究科担当教員資格審査規程」に基づいて、年度末に教員の業績評価を実施し、2名が合からマル合の評価を得た。また新規採用教員の業績評価を実施し、教員組織の充実を図っている。

##### ② 博士後期課程学生の成果物（博士論文）のネット公表2名を行った。

##### ③ 「職業実践力育成プログラム（BPプログラム）を開講し5名の修了生を輩出した。

##### ④ 研究科在籍学生に対する教育内容及び施設設備等満足度等に関する実態調査を施行した。

なお、前年度のデータの分析についても研究科委員会で報告した。

#### 1. 学位論文紹介

##### 1) 博士論文

[平成29年度；博士学位論文の論文要旨] 1名

##### 2) 修士論文

[平成29年度；修士学位論文の論文要旨] 2名